

日ごろより、本市の行政にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

本号では、先行整備エリアである「宮川・水上地区」「恩田原・片山地区」の進捗状況と「日本平久能山スマートインターチェンジ」の開通後の利用状況をお知らせします。

宮川・水上地区

これまでの経緯

宮川・水上地区まちづくりビジョンをもとに事業の実現性を高めるため、住宅関係者向け説明会、地権者ワークショップを開催しました。そこで地権者から得られた意見を踏まえ土地利用計画図案の見直しを行い、宮川・水上地区 **まちづくり計画** を作成しました。

宮川・水上地区まちづくり計画

「東名高速道路 日本平久能山スマート IC」が令和元年9月に開通し、周辺を静岡市の魅力である「農業」「スポーツ」「モノづくり」「エンターテインメント」などを利用した賑わい創出(交流)の拠点とするとともに、先進のエコタウン+豊かなコミュニティづくりで次世代のライフスタイルをリードするまちを形成することを目指します。

宮川・水上地区まちづくり計画 (令和2年1月時点)



【土地利用計画図】



永続農業エリア 約2ha

- ・永続営農を希望する方の土地を集約し、農業目的以外の利用を制限し、農業環境の保全を図ります。
- ・永続農業とは、今後三世代以上にわたり、営農を継続される方を想定しています。

当面農業エリア 約4ha

- ・一定期間を農地として利用し、将来、企業への売却等が可能な土地を希望する方の土地を集約します。
- ・当面農業とは、一～二世代において、営農をされる方を想定しています。

居住エリア 約3.5ha

- ・事業区域内で地盤高の高い位置に居住エリアを集約し、安心安全な住環境の保全を図ります。
- ・移転が必要な住宅は、換地により居住エリア内に配置します。

交流施設エリア 約25ha

- 日本平久能山スマートICの近傍であり交流拠点として、一団の土地利用を可能とするために、土地を集約し、交流施設の誘致に魅力的なエリアを創出します。

※記載の面積・エリア設定は、権利者の土地利用意向や今後の関係機関協議等によって変更します。

仮同意と土地利用意向調査

令和元年12月に宮川・水上地区権利者説明会を開催し、宮川・水上地区まちづくり計画の説明を行いました。その後、令和2年1～3月にかけて、土地区画整理の事業化に向けた詳細な検討を進めることへの仮同意と土地利用意向の調査を行いました。
集計した結果、**取得率80%**を超える仮同意を得ることができました。

宮川・水上地区準備組合が設立

土地区画整理組合の設立に向けて地権者の更なる合意形成を図っていくため、令和2年7月に準備組合が設立されました。

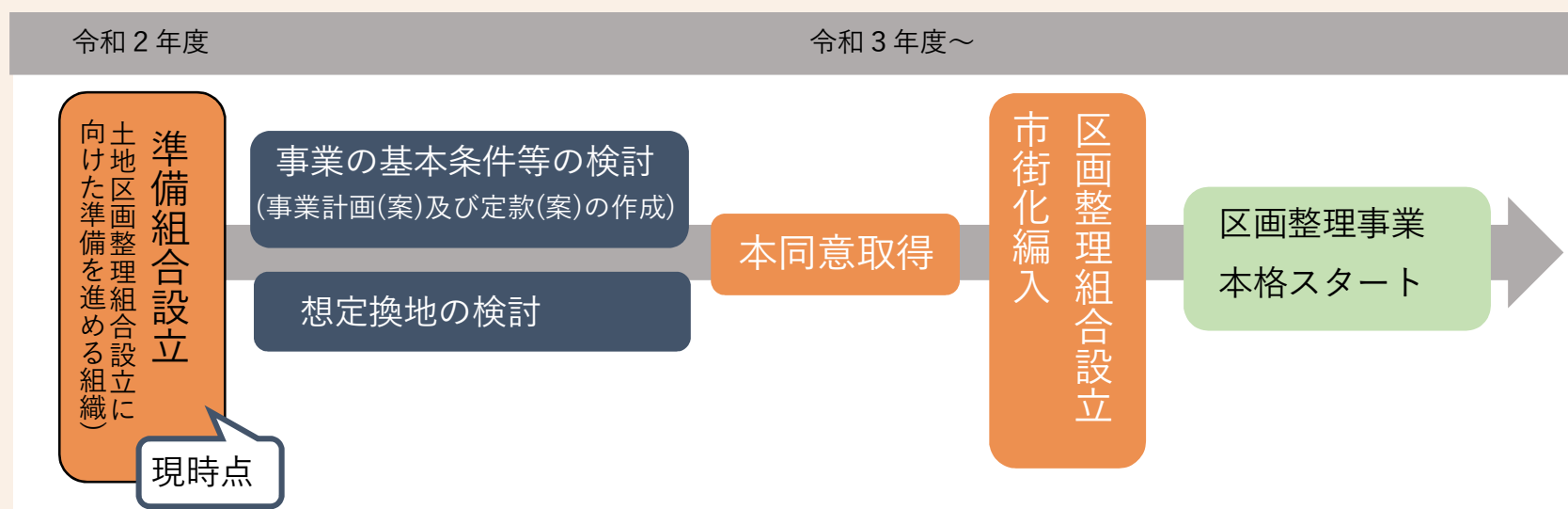
今後は準備組合において土地区画整理の事業化に向けた詳細な検討を進めていきます。

宮川・水上地区

今後のスケジュール

今年度は土地区画整理組合設立の同意取得開始を目指し、随時説明会等開催する予定です。

※本スケジュールは目標です。
協議や検討状況によって変更
する場合があります。



恩田原・片山地区

基盤整備工事の進捗状況

恩田原・片山土地区画整理組合では、平成31年4月より基盤整備工事を行っています。令和2年3月末の工事進捗率は約20%で、恩田原地区の都市計画道路 恩田原片山線や周辺の区画道路、宅地造成などが一部完成しました。

令和2年度からは、片山地区の住宅エリアに近い場所での基盤整備工事にも着手し、令和5年度の工事概成に向けて計画的に工事を進めています。

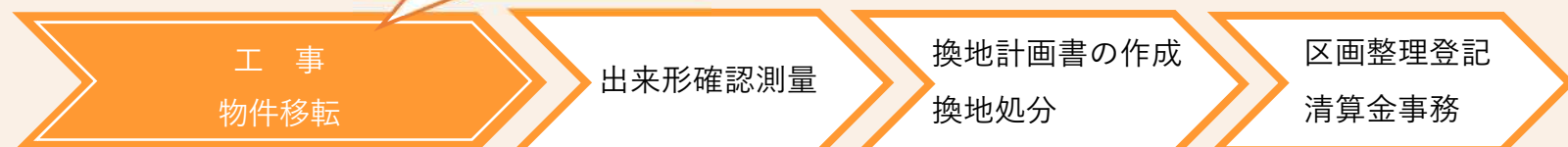
なお、整備中でありました調整池兼恩田原スポーツ広場は、大雨の影響により修復工事が必要となりました。皆様には多大なるご迷惑をおかけしておりますが、令和3年度の使用開始に向け、工事を進めてまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



都市計画道路 恩田原片山線（令和2年9月撮影）

今後の動き

平成30年度～令和5年度予定



令和8年度
事業完了予定！

この地区の土地区画整理に関する情報は、組合ホームページ及び静岡市ホームページでも発信しております。また、当事業についてご不明な点などがございましたら、下記の組合事務局までお問い合わせください。

■組合事務局 HP <https://sites.google.com/site/ondabarakatayama/>
■新インターチェンジ周辺整備課 HP https://www.city.shizuoka.lg.jp/930_000027.html

恩田原・片山土地区画整理組合事務局
TEL：054 - 654 - 5777

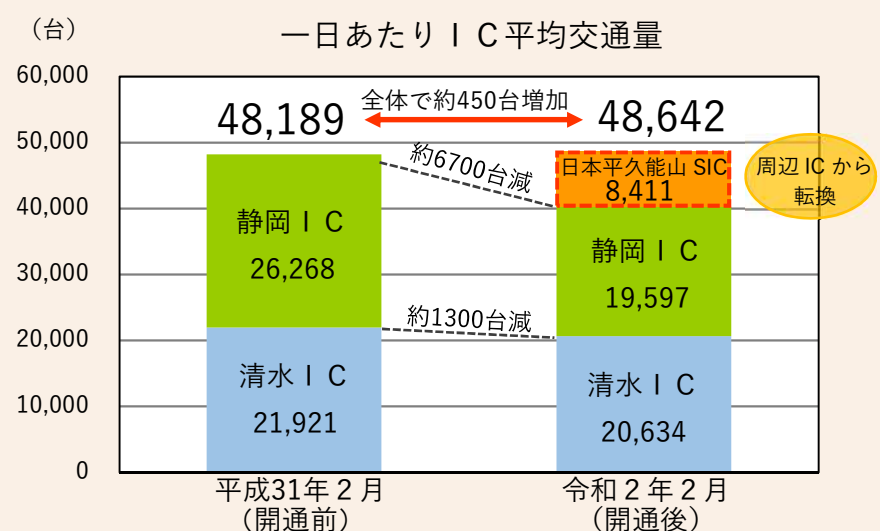
日本平久能山スマートIC

開通1年後の利用状況

日本平久能山スマートICは昨年9月14日に開通しました。開通当初より順調に利用交通量を伸ばし、今年の2月には1日あたり8,000台を超え、全国130を超えるスマートICの中で利用交通量**第1位**になりました。

スマートICの開通により、静岡IC周辺の交通混雑が緩和されました。これはIC利用の転換による効果と考えられます。

今後は、令和3年夏頃に予定されている中部横断自動車道開通等に伴い、更なる利用交通量の増大や経済活動等の活性化が予想されるため、周辺道路の整備を進め、交通環境の改善に努めてまいります。



出典：月間高速道路と自動車 高速道路統計月報（令和元年5月号）
月間高速道路と自動車 高速道路統計月報（令和2年5月号）

※このご案内は、大谷・小鹿地区内の土地の権利者（土地・建物所有者、仮登記権者、抵当権者、利用権設定者）ほか関係者に発送しております。

静岡市新インターチェンジ周辺整備課
TEL：054-238-1981 FAX：054-238-1982